

2 - (3) 区民評価からの視点

みどり施策の方向性は、区民の実感を伴うものでなくてはならない。そのためには、区民のみどりに対する満足度（例えば、意識意向調査におけるみどり施策に対する満足度等）をあげる施策や目標設定等を行うことが重要である。

① 「みどりの機能」に着目した評価指標の設定 資料 1-5

緑化委員会の答申に基づき、従来の「みどりの量」の指標に加え、「みどりの機能」に着目した「みどりの質」の評価指標の検討を進める。

評価指標は区民の実感に沿うような項目を選定した。また、答申にもあるように、評価指標は今後実態に即して見直す。

② みどりの現況に対する区民意識との関係性の分析 資料 1-6、1-7

平成 27 年度区民意識意向調査の結果を利用し、区民のみどりに対する満足度（以下、「区民の満足度」という。）と、みどりの現況（平成 23 年度みどりの実態調査）との関係を分析中である。

区民の満足度については、総じて高いものの、地域によっては相対的に低い地域もあり、みどりの現況との関係性が推察された。

例えば、地域的に樹林地の増減の大小や、大規模公園の整備の有無等と、区民の満足度との関係を見ると、一定の関係性が認められる。

また、①で示した評価指標に基づく、みどりの現況（平成 23 年度実態調査）を分析した結果、練馬区内における「みどりの質」は地域によって異なっていることが分かった。

これらのことは、区民が捉える「みどり」が、居住地域の環境や個人的背景（例えば、ライフスタイルなど）によって異なっており、地域の特徴的なみどりを活かした施策や、ライフスタイルに即した施策が、区民の満足度の向上につながる可能性を示唆していると考えられる。

③ 区民評価からみた課題

- ・全区的に展開すべき施策や目標を明らかにする。
- ・地域特性として、みどりの特性と地域住民の特性（人口構造やライフスタイル等）を把握し、地域別の課題を明らかにする。
- ・地域特性別に保全すべきみどりや増やすべきみどり、あるいは重点的に取り組むべき施策を明らかにする。